

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	所沢市役所	代表者名	副市長 中村 俊明
担当者部署	経営企画部経営企画課	連絡先電話番号	04-2998-9027
担当者役職	主査	担当者氏名	吉川 康俊
住所	359-8501 埼玉県所沢市並木1-1-1		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	市内で今年度から全所属長をDX推進員とし所属のDXを推進しているが、DXの必要性等、認識を一律に付与し、スタート地点に立てる所属長を増やすため「自治体DXの進め方」のご講演を依頼した。「デジタルは目的でなく、行政サービスを維持するための手段」であるというメッセージが、最近のデジタル技術の進歩に距離を感じている者の心にも響いた。また、ご講演内容が具体的な国内外の事例で、各事例の本質を丁寧に説明いただけるものであったため、説得力があり、現状に対する程よい危機感と同時に、実行することによる将来の希望も与えていただけた。
アドバイザーへの要望事項	本市のDXに対する取組は始まったばかりで、圧倒的に知識や知見が不足しているため、今後も何かとご教示願いたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年1月20日	9時30分	12時30分		180
3-2. 派遣場所	会場名	所沢市役所		最寄駅	航空公園駅
	所在地	埼玉県所沢市並木1-1-1		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	講演（実地）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（全所属長）	80 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	総務省からの自治体DX推進手順書にある「ステップ0 DXの認識共有・機運醸成」について、業務を推進するミドルマネジメント（所属長）の機運醸成が課題となっている。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	所属長がDXに対する意識を高め、DXを重要なミッションとして自分事化すること	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	DXとは何か、DXがなぜ必要か、DXに係る国内外の現状、DXに向けて何から始めるべきかについて、全所属長に対してご講演いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	開催後のアンケート結果が出ておらず客観的なデータは出ておりませんが、聞こえてきた受講者の声は全て肯定的なものであったため、一定の成果があったと考えている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	アンケート実施中のため成果物（受講前と受講後の機運の変化）は未定である。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	アンケート結果をもとに改善点等を検証予定であるため現在は不明である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート実施中である。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	全所属長がDX推進に対する機運を醸成(マインドセット)している組織	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

